

医薬事業戦略

2019年5月17日

常務取締役 医薬事業部長

西田 健一



本日の発表内容

1 医薬事業実績報告

2 開発・生産体制の取り組み

- ① 研究開発体制の強化
- ② ニプログループ生産品目毎の数量推移
- ③ 注射剤工場の増産体制強化
- ④ 経口剤工場の増産体制強化
- ⑤ ベトナム拠点に関する報告

本日の発表内容

1

医薬事業実績報告

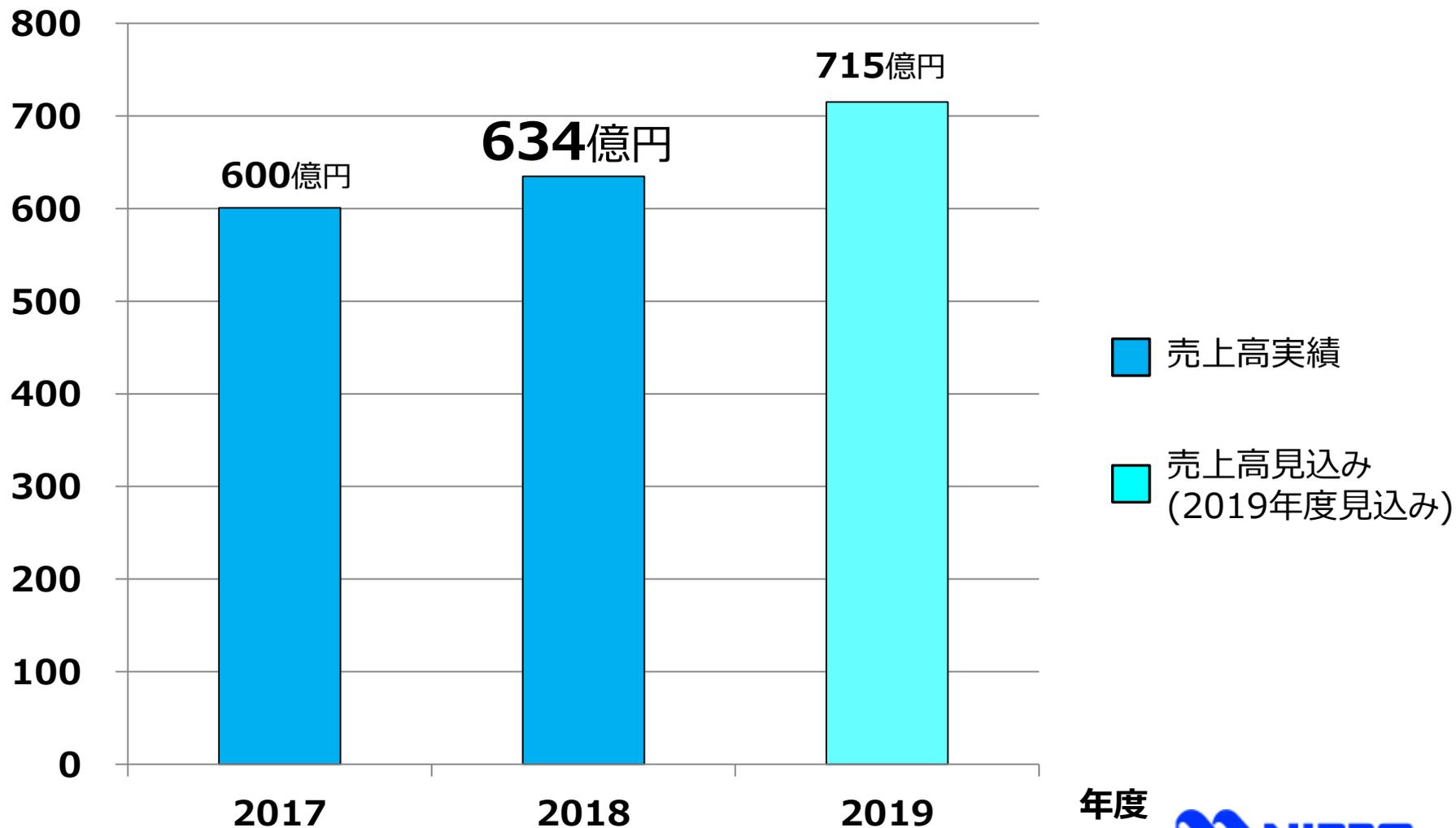
2

開発・生産体制の取り組み

- ①研究開発体制の強化
- ②ニプログループ生産品目毎の数量推移
- ③注射剤工場の増産体制強化
- ④経口剤工場の増産体制強化
- ⑤ベトナム拠点に関する報告

医薬事業セグメント売上高推移

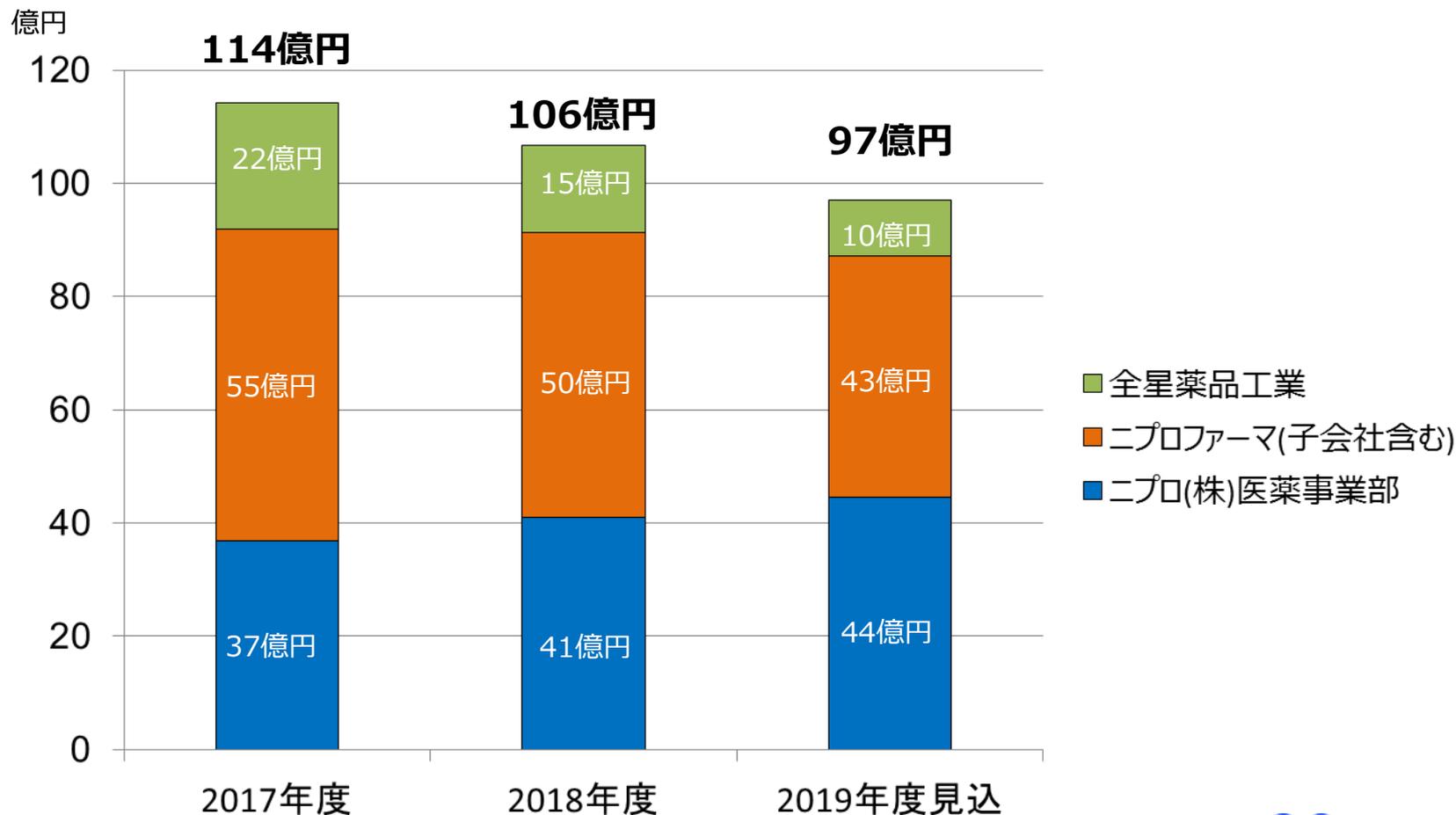
億円



年度

医薬事業各部門営業利益推移

営業利益推移



本日の発表内容

1

医薬事業実績報告

2

開発・生産体制の取り組み

- ① 研究開発体制の強化
- ② ニプログループ生産品目毎の数量推移
- ③ 注射剤工場の増産体制強化
- ④ 経口剤工場の増産体制強化
- ⑤ ベトナム拠点に関する報告

研究開発体制の強化

医薬品研究所 埼玉研究所発足

埼玉研究所

生産工場との併設により工業化検討と並行した開発業務が可能となる医薬品研究所 埼玉研究所が発足

滋賀の研究所と合わせ今年度8成分（22規格）の後発医薬品を申請予定

埼玉研究所 春日部サイト

- ・敷地面積：1553.3m²
- ・研究員：41名
- ・開発可能剤形：外用剤・経口剤

・併設工場：
ニプロファーマ埼玉工場、第1プラント
第2プラント、第3プラント

埼玉研究所 川越サイト

- ・敷地面積：1093.8m²
- ・研究員：20名
- ・開発可能剤形：経口剤

・併設工場：
ニプロファーマ埼玉工場第4プラント



ニプログループ生産品目毎の 数量推移

ニプログループ生産品目毎の数量推移

剤形	2018年度数量 /2017年度数量	2019年度見込数量 /2018年度数量
アンプル	106%	119%
バイアル	110%	122%
バッグ	101%	100%
シリンジ	102%	125%
錠剤・カプセル	110%	107%
細粒・顆粒・散剤・DS	108%	117%

注射剤工場の増産体制強化

ニプロファーマ伊勢工場



小容量バイアルライン



2019年
03月

バイアル充填ライン
導入完了



2020年
03月

凍結乾燥機
搬入予定

2021年
03月

凍結乾燥機
稼働予定

液のみ：2,900万本
凍乾のみ：230万本

※凍乾：4日/ロットとして

ニプロファーマ大館工場



大館工場 自動倉庫棟

安定供給体制の整備の一環として医薬品の保管および入出荷の品質管理を強化

2020年03月 竣工予定



【主な特徴】

- 自動倉庫保管数：4,432パレット
- 停電対策：自動稼働装置付非常用発電機完備

- 地震対策：自動倉庫内パレットストッパー全箇所設置
- 自動倉庫内温度：15~25℃



経口剤工場の増産体制強化

経口剤工場の生産最適化

埼玉工場 第4プラント

工場と研究所が隣接していることにより工業化検討と並行した開発業務が可能

鏡石工場

経口剤の基幹工場として更なる生産数量拡大の取り組みを継続

ニプロファーマ飛騨工場

少量多品種に強みを有する包装工場として基幹工場の一層の効率化をサポート

埼玉工場

経口剤の第2基幹工場として現在製造設備の充実を進行中

城北工場

小ロットスケール品の生産工場

伊勢工場（包装棟）

受託包装を主眼に置き、グループ内の包装工程の最適化にも活用

ニプロファーマ鏡石工場



ニプロファーマ鏡石工場 造粒工程の増床

200kgスケールの造粒プロセス2系統を増設予定
増産とコスト削減を図る

- 年間15億錠の製造能力の向上
- 2020年5月稼働



2019年5月より杭打ち開始

ニプロファーマ埼玉工場



第1プラント



第3プラント



埼玉工場 経口剤生産基盤の拡張

新たな経口剤生産の基幹工場として

2019年3月 ニプロファーマ埼玉工場として稼働開始

2020年5月に14億錠の生産能力を
実装完備する〔逐次設備を導入中〕

2019年度生産数量(見込)：約3億錠



埼玉工場概要

所在地：埼玉県春日部市

敷地面積：26,442m²

従業員数：80名

埼玉工場 経口剤生産基盤の拡張

2018年10月 ニプロファーマ埼玉工場 第4プラントが稼働開始



埼玉工場 第4プラント概要

所在地 : 埼玉県川越市

敷地面積 : 4337.86m²

従業員数 : 63名 (研究員除く)

2019年度生産数量(見込) : 2.7億錠

ニプロ 医薬品研究所 埼玉研究所
川越サイトを併設

ニプロファーマ飛騨工場株式会社



ニプロファーマ飛驒工場株式会社

医薬品・治験薬の包装工程に特化した工場

少量多品種に強みを持つ工場

・ 500T、1000T、バラ、顆粒小分け、特殊包装の品目構成

所在地	岐阜県飛驒市
敷地面積	16,528.93m ²
資本金	4億円
従業員数	74名
<品目数>	
製剤数	80品目
包装別数	121包装
(2019年04月01日現在)	

2019年度生産数量(見込) : 3.8億錠



全星薬品工業 和泉工場



全星薬品工業 和泉工場 第3ライン

第3ライン

～2019年3月より稼働～



連続直接顆粒化装置 CTS-SGR



転動流動コーティング装置MPシリーズ
25型、100型、200型（写真は200型）

■ 特徴：

- ①小～大型サイズの微粒子コーティング機を複数台導入
- ②ニプログループ考案のOD錠化技術で高含量微粒子含有OD錠化法（SYNBRID®）を可能とする機械メーカーとの共同開発による業界初の新機能設備を導入

■ 生産能力：約3億錠



ベトナム拠点に関する報告

ベトナム事業の現況

メコファ社との協業による
日本向け製剤の製造事業

Mekophar
BP

Nipro
Pharma
Vietnam

ニプロファーマ・ベトナム・リミテッド

Plant
location

Hanoi

Hai Phong

Ho Chi Minh City

- 2018年10月05日、ベトナム保健省 (MOH)のGMP認証を取得
- 日本向け品目に関して製造所追加の一部変更申請を4月に実施
- 2019年08月出荷開始予定

- 2019年02月より新規受託バイアル製剤の納入開始

ご清聴ありがとうございました